

〈事後評価〉

研究番号	1	担当部	健康・食品安全科学部	研究期間	平成30～令和3年度
研究課題名	石川県における薬剤耐性菌の保有状況の把握				
研究概要	<p>現状・背景</p> <p>近年、薬剤耐性菌の拡散は国際的に大きな問題となっており、2014年のWHO総会において「薬剤耐性に関するグローバルアクションプラン」が採択された。我が国においても2016年4月「薬剤耐性対策アクションプラン」が策定され、その骨子の1つである動向調査・監視及び感染予防・管理を担うべき機関として地方衛生研究所が挙げられている。国内では、薬剤耐性菌の分離状況を把握するため、厚生労働省の院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)で全国的な薬剤感受性サーベイランスが行われているが、薬剤耐性菌の分離状況は、地域や施設間で異なることが知られており、より正確な状況把握のためには地域におけるサーベイランスが重要である。また、耐性菌の蔓延は院内感染だけでなく、市中においても問題視されるようになってきており、地域における総合的な感染症対策を行っていく必要性が指摘されている。</p> <p>当センターは地方衛生研究所として、石川県における薬剤耐性菌の動向を把握し、情報提供を行うこと、また、県内の医療機関において薬剤耐性菌による集団発生が起きた場合、適切に助言・指導するための体制強化をする必要がある。</p> <p>研究目標</p> <p>石川県内の薬剤耐性菌の保有状況を把握し、耐性菌の拡大抑制に資する情報を提供する。</p> <p>研究計画</p> <p>(1) 石川県内の医療機関で分離されたCRE及びESBL産生菌を収集し、耐性遺伝子の保有状況を調査。  (2) 健常者糞便からCRE及びESBL産生菌を検出し、市中における耐性遺伝子の保有状況を調査。  (3) 県内で市販されている食品からCRE及びESBL産生菌を検出し、耐性遺伝子の保有状況を調査。対象とする食品は、ESBL産生菌の検出率が高いとの既報がある鶏肉とする。  (4) 上記調査結果を比較解析。</p>				
得られた成果	<p>薬剤耐性遺伝子の把握</p> <p>○カルバペネマーゼ遺伝子保有(CPE)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内で多く分離されているIMP型に加え、主に海外で分離されているNDM型も検出→引き続きサーベイランス必要</li> <li>・CPEが検出された患者の多くは入院患者であり、健常者、鶏肉からはCPEは検出されず→市中に広がっていないと推測</li> </ul> <p>○ESBL遺伝子保有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関、健常者糞便、鶏肉から検出したCTX-M型遺伝子のグループの割合は異なった。→ヒトにおけるESBL産生菌の動向は、鶏肉と異なる可能性</li> </ul>				
評価結果	A	予想以上の成果をあげた			
委員会意見等	<p>薬剤耐性菌は、人の健康にかかわる非常に重要な課題である。本調査研究では、石川県内の薬剤耐性菌の保有状況が明らかとなり、目標どおりの成果がでていることから、高く評価できる。今後も調査を継続し、現在調査中の下水分析と合わせて、市中感染がどの程度広まっているかの検証が可能となることを期待する。また、この調査が予防や市中拡散抑制につながることを期待したい。</p> <p>市中の薬剤耐性菌を把握する重要な研究をされている。調査の継続、拡大が望まれる。是非、然るべき方法で公表して欲しい。</p> <p>薬剤耐性菌の保有状況を調査することは、大変重要であり、抗生物質の適切な使用を促すための基礎資料となる。また、下水の細菌やウイルスを検査することにより、流行をいち早く予測する試みがなされており、本研究グループも下水調査に着手したことは、今後、この分野での発展が期待される。さらに、サンプリング場所を住居近くにするなど、検体が人々の暮らしを反映しやすいような工夫がいるようにも思われる。そうすれば、疾患との関係が考察しやすく、県民の健康を守るといふ県保健環境センターの役割とマッチするものと思われる。</p> <p>市中での耐性菌の蔓延評価のための健常人のサンプル数が限定的だった点に本調査の限界が認められたが、医療機関における評価では、詳細かつ精緻なデータ取得に成功しており、研究計画は十分に達成された。</p> <p>また、市中状況のモニタリングのために今年度開始した下水評価の将来的な検討との構想は期待大であり、是非実現していただきたい。</p> <p>薬剤耐性菌が集団発生した際はもちろん、それ以前の段階においても、今回の結果が各医療機関にフィードバックされ、関係機関にも情報提供されると良い。</p> <p>薬剤耐性菌など専門用語が多く一般県民としては難しい内容だった。鶏肉に大腸菌がいるというのは参考になった。</p>				